

野菜病害虫発生予察情報 令和2年度 第17号

調査日 令和3年2月9日～2月16日
 調査圃場 29圃場(葉物野菜、ねぎ、にら、キャベツ、ブロッコリーなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	べと病	少	並	ランマンフロアブル	100～300L /10a	2000倍	収穫3日前まで	3回以内
たまねぎ	べと病	少	並	ランマンフロアブル		2000倍	収穫7日前まで	4回以内
				ジマンダイセン水和剤		400～600倍	収穫3日前まで	5回以内

べと病に注意

①品目:ほうれんそう

下葉から発病することが多く、しだいに上葉にも及び、葉柄や茎にも発病します。初発時の早期防除を心がけましょう。

②品目:たまねぎ

気温15℃前後で曇雨天が1～2日続くと、べと病発生リスクが高まります。べと病は感染力が非常に強く、胞子は風に乗って遠くまで飛散するので注意が必要です。この時期は越年罹病株(健全株に比べ草丈が低く、葉が湾曲)に注意し、罹病株があれば直ちに抜きとり、適切な処分を行いましょう。



病害株の様子

今後の注意点

現在あまり害虫は見られていませんが、今後気温が上がるにつれてアブラムシ類、キスジノミハムシ、ハダニ類、アザミウマ類などの害虫が増加する可能性が考えられます。それぞれの品目において、薬剤を発生初期に散布するようにしましょう。

除草剤キャンペーン中!

- ラウンドアップマックスロード
- 草枯らしMIC

水田畦畔や野菜類耕起前の雑草防除に効果が期待できます。規格が大きいほどお買い得になりますので、この機会にぜひお買い求め下さい!

注文締切 3月12日(金)まで



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報 令和2年度 第16号

調査日 令和3年1月12日～1月20日
 調査圃場 35圃場(葉物野菜、ねぎ、にら、キャベツ、ブロッコリーなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜・水菜	キスジノミハムシ	少	並	スタークル顆粒水溶剤	100～300L /10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
小松菜	白さび病	少	並	ランマンフロアブル		2000倍	収穫3日前まで	3回以内
ブロッコリー	べと病	多	並	アミスター20フロアブル		2000倍	収穫3日前まで	3回以内
キャベツ	菌核病	少	並	ロブラール水和剤		1000倍	収穫7日前まで	4回以内
たまねぎ	べと病	中	並	ランマンフロアブル		2000倍	収穫7日前まで	4回以内

①べと病

品目:ブロッコリー

葉の発病だけでなく、花蕾にも発病しやすい時期のため注意が必要。出蕾期の葉への感染がないか確認し、早期防除を心がける。

(花蕾の症状)

花蕾直下の主茎や花柄部分に黒褐色の斑点を生じる。降雨が続く、植物体が濡れた状態が長時間続いたり、肥料を多量に施用すると発生が助長する。

②菌核病

品目:キャベツ

15～20℃の多湿条件下で多く発生する。3～4月は特に注意が必要。前年も見られた圃場や気象条件的に発生が多いとされる場合は結球開始期から予防的に薬剤散布する。

たまねぎのべと病に注意

気温15℃前後で曇雨天が1～2日続くと、べと病発生リスクが高まります。べと病は感染力が非常に強く、胞子は風に乗って遠くまで飛散するので注意が必要です。この時期は1次伝染株(件全株に比べ草丈が低く、葉が湾曲)に注意し、罹病株があれば直ちに抜き取り、適切な処分を行いましょ。

施設の換気を心がけましょ

施設栽培では保温のため、ハウスを締め切ることが多くなりますが、湿度が高くなり病気が発生しやすくなります。天候に合わせて適度な換気を心がけましょ。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょ。

野菜病害虫発生予察情報 令和2年度 第14号

調査日 令和2年11月11日
 調査圃場 32圃場(葉物野菜、ねぎ、にら、キャベツ、ブロッコリーなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
水菜	キスジノミハムシ	少	並	モスピラン顆粒水和剤(劇)	100~300L /10a	4000倍	収穫7日前まで	1回
	アブラムシ類	少	並					
にら	白斑葉枯病	多	並	アミスター20フロアブル		2000倍	収穫14日前まで	2回以内
キャベツ	シロイチモジヨトウ	少	並	コテツフロアブル		2000倍	収穫前日まで	2回以内
	黒腐病	少	並	Zボルドー※		500倍	—	—
ブロッコリー	べと病	少	並	アミスター20フロアブル		2000倍	収穫3日前まで	3回以内
じゃがいも	ハスモンヨトウ	中	並	マッチ乳剤		3000倍	収穫7日前まで	2回以内
	アブラムシ類	少	並	トレボン乳剤		1000倍	収穫7日前まで	3回以内

※キャベツでZボルドーを使用する際は、葉焼け等が懸念されるため使用は結球初期までにとどめましょう。

①アブラムシ類

品目:水菜、じゃがいも
 ブロッコリーの一部圃場
 短期間のうちに高密度となる。
 農薬散布の際は葉裏に十分かかるよう
 注意する。

②鱗翅目害虫

ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ等

品目:キャベツ、じゃがいも
 ブロッコリーの一部圃場
 生育ステージが進むと薬剤が効きにくくなる
 ため早期防除を行う。

換気を行いましょ

冬期の施設栽培では
 保温のためハウスを閉めると、湿度が高くなり、病害が発生しやすくなります。天候に合わせて適度な換気を心がけましょう。

露地栽培でも
 排水の悪い圃場や密植している圃場は病害が発生しやすくなります。圃場に水が溜まらないよう排水溝の確認や予防剤の散布など対策を行いましょ。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょ。

野菜病害虫発生予察情報 令和2年度 第13号

調査日 令和2年10月14日
 調査圃場 30圃場(葉物野菜、ねぎ、にら、キャベツ、ブロッコリーなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
小松菜・水菜	キスジノミハムシ	少	並	スタークル顆粒水溶剤	100~300L /10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
水菜	アブラムシ類	中	増			3000倍		
ほうれんそう	ハスモンヨトウ	少	増	アフーム乳剤		2000倍	収穫3日前まで	2回以内
にら	さび病	少	並	トリフミン水和剤		2000倍	収穫14日前まで	3回以内
レタス	シロイチモジヨトウ	少	増	ゼンターリ顆粒水和剤		1000倍	発生初期、但し 収穫前日まで	—
ブロッコリー	アブラムシ類	中	増	スタークル顆粒水溶剤		2000~3000倍	収穫3日前まで	2回以内

病害虫に注意しましょう

①アブラムシ類

品目:水菜、ブロッコリー
 キャベツの一部圃場
 短期間のうちに高密度となる。
 農薬散布の際は葉裏に十分かかるよう
 注意する。

②ハスモンヨトウ

品目:ほうれんそう
 キャベツ、ブロッコリーの一部圃場
 生育ステージが進むと薬剤が効きにくく
 なるため早期防除を行う。

兵庫県病害虫防除所より
 注意報発令中!

ハスモンヨトウ

シロイチモジヨトウほか、
鱗翅目害虫 に注意!

特に露地のアブラナ科野菜で葉の食害、芯止まりの症状が多く見られます。
 卵塊や分散する前の若齢幼虫の早期発見・捕殺や薬剤散布を行いましょ。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報 令和2年度 第11号

調査日 令和2年9月9日
 調査圃場 19圃場(葉物野菜、なす、ねぎ、にら、キャベツ、ブロッコリーなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
小松菜・水菜	コナガ	少	増	プレバソンフロアブル5	100~ 300L/10a	2000倍	収穫前日まで	2回以内
	キスジノミハムシ	少	並	スタークル顆粒水溶剤		2000倍	収穫3日前まで	2回以内
にら	アザミウマ類	少	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		4000倍	収穫前日まで	3回以内
キャベツ	アブラムシ類	中	並	ランネート45DF(劇)		1000~2000倍	収穫14日前まで	3回以内
	ハスモンヨトウ	少	増	グレーシア乳剤		2000~3000倍	収穫7日前まで	2回以内
ブロッコリー	ハスモンヨトウ	中	増	グレーシア乳剤		2000~3000倍	収穫7日前まで	2回以内
	コナガ	中	増					
なす	ハダニ類	少	並	ニッソラン水和剤		2000~3000倍	収穫前日まで	2回以内
	コナジラミ類	多	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		2000倍	収穫前日まで	3回以内

病害虫に注意しましょう

①ハスモンヨトウ

品目:キャベツ、ブロッコリー
 ほうれんそうの一部圃場
 生育ステージが進むと薬剤が効きにくくなるため早期防除を行う。

②コナジラミ類

品目:なす
 トマト等他の施設野菜にも被害を及ぼすため、農薬は葉裏まで十分かかるように散布する。

その他のお知らせ

・シロイチモジヨトウほか、 鱗翅目害虫 に注意!

コナガ・シロイチモジヨトウ・ハスモンヨトウ・ダイコンシンクイムシ・ツマジロクサヨトウ等
 鱗翅目害虫の発生増

特に露地のアブラナ科野菜で葉の食害、芯止まりの症状が多く見られます。
 圃場よく観察し、早期防除を心がけましょう。

・熱中症に注意しましょう!

帽子・通気性の良い衣類の着用、こまめな水分・塩分補給を行いましょ。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報 令和2年度 第10号

調査日 令和2年8月26日
 調査圃場 20圃場(葉物野菜、なす、ねぎ、にら、えだまめなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
小松菜・水菜	コナジラミ類	中	並	サンクリスタル乳剤	150~500L/10a	300倍	収穫前日まで	-
	キスジノミハムシ	少	並	アニキ乳剤	100~300L/10a	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
小松菜	コナガ	少	増	アニキ乳剤		1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
	シロイチモジヨトウ	少	増	ゼンターリ顆粒水和剤		1000倍	発生初期但し、 収穫前日まで	-
ねぎ	アザミウマ類	多	並	スピノエース顆粒水和剤		2500~5000倍	収穫3日前まで	3回以内
にら	アザミウマ類	少	並	スピノエース顆粒水和剤		10000倍	収穫前日まで	3回以内
なす	コナジラミ類	中	並	トレボン乳剤		1000倍	収穫前日まで	3回以内
	ハダニ類	中	並	コテツフロアブル(劇)		2000倍	収穫前日まで	4回以内
きゅうり	アブラムシ類	中	並	トレボン乳剤		1000倍	収穫前日まで	3回以内
	コナジラミ類	多	並	トレボン乳剤		4000倍	収穫前日まで	2回以内
えだまめ	カメムシ類	少	並	カスケード乳剤		2000倍	収穫前日まで	3回以内
	べと病	中	並	アミスター20フロアブル				

病害虫に注意しましょう

①ハダニ類

品目: なす
 乾燥条件が続くと発生しやすいので
 注意する

②コナジラミ類

品目: 小松菜、水菜、なす、きゅうり
 農薬は葉裏まで十分かかるように散布
 する

その他のお知らせ

・シロイチモジヨトウほか、 鱗翅目害虫 に注意!

今後1か月気温は平年より高くなる見込みのため害虫の増加に注意。
 今回の調査でも小松菜の一部圃場でシロイチモジヨトウが発生多。

育苗期や定植後の品目は予防的防除を行いましょ。

熱中症に注意しましょう!

帽子・通気性の良い衣類の着用、こまめな水分・塩分補給を行いましょ。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょ。

野菜病虫害発生予察情報 令和2年度 第9号

調査日 令和2年8月12日
 調査圃場 24圃場(葉物野菜、トマト、なす、ねぎ、にら、えだまめなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
小松菜・水菜	キスジノミハムシ	中	並	スタークル顆粒水溶剤	100~ 300L/10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
ほうれんそう	ヨトウムシ	少	並	ゼンターリ顆粒水和剤		1000~2000倍	発生初期但し、 収穫前日まで	-
	ハウレンソウケナ ガコナダニ	少	並	カスケード乳剤		4000倍	収穫3日前まで	3回以内
ねぎ	アザミウマ類	中	並	ディアナSC		2500~5000倍	収前前日まで	2回以内
にら	アザミウマ類	中	並					
モロヘイヤ	アブラムシ類	少	並	サンクリスタル乳剤	150~ 500L/10a	300倍	収穫前日まで	-
	ハダニ類	少	増	コロマイト乳剤	300L/10a	1500倍	収穫前日まで	1回
なす	コナジラミ類	甚	増	スタークル顆粒水溶剤	100~ 300L/10a	2000~3000倍	収穫前日まで	2回以内
えだまめ	カメムシ類	中	増	ランネット45DF(劇)		1000~2000倍	収穫7日前まで	3回以内

※ジノテフランを含む農薬(スタークル粒剤、スタークル顆粒水溶剤等)の総使用回数は3回以内(播種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)

病虫害に注意しましょう

①キスジノミハムシ

品目:小松菜、水菜
 7圃場中5圃場で発生
 気温が高いとキスジの成育が早くなるため注意

②カメムシ類

品目:えだまめ
 今年は発生が多い傾向
 圃場周辺の草刈り等防除の徹底

③ハダニ類

品目:モロヘイヤ
 小松菜、なす、きゅうり、えだまめでも一部に発生
 今後1か月気温が高くなる見込みのため注意

④コナジラミ類

品目:なす
 葉裏の生息が多いため、農薬散布の際は葉裏
 に十分かかるよう注意

その他のお知らせ

・ハイマダラノメイガ

に注意!

キャベツ、ハクサイ、
 ブロッコリー、ダイコンで
 発生が平年より多
 (兵庫県病虫害防除情報より)

育苗期や定植後の品目は
 予防的防除を行いましょう。

・登録のある薬剤
プレバソンフロアブル5
 ※ブロッコリー、ダイコンは
 散布のみ

・熱中症に注意しましょう!

帽子・通気性の良い衣類の着用、
 こまめな水分・塩分補給を行いましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報 令和2年度 第8号

調査日 令和2年7月22日
 調査圃場 24圃場(軟弱、トマト、なす、ねぎ、にら、えだまめなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜・水菜	キスジノミハムシ	中	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	100~ 300L/10a	4000倍	収穫7日前まで	1回
ねぎ	アザミウマ類	中	増	グレーシア乳剤		2000~3000倍	収穫7日前まで	2回以内
	さび病	中	並	アミスター20フロアブル		2000倍	収穫3日前まで	4回以内
	べと病	多	並					
モロヘイヤ	アザミウマ類	少	並	スピノエース顆粒水和剤		5000倍	収穫3日前まで	3回以内
トマト	灰色かび病	中	並	ダコニール1000		1000倍	収穫前日まで	4回以内
	うどんこ病	少	並					
	アザミウマ類	中	増	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		2000倍	収穫前日まで	3回以内
なす	コナジラミ類	中	並	トレボン乳剤		1000倍	収穫前日まで	3回以内
えだまめ	カメムシ類	中	増	アグロスリン乳剤(劇)		2000倍	収穫7日前まで	3回以内
	アザミウマ類	中	増	ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	

病虫害に注意しましょう

①キスジノミハムシ

品目:小松菜、水菜

8圃場中6圃場で中程度発生

気温が高いとキスジの成育が早くなるため注意

②カメムシ類

品目:枝豆

今年は発生が多い傾向

圃場周辺の草刈り等防除の徹底

③アザミウマ類

品目:ねぎ、トマト、えだまめ

小松菜でも一部に発生

食害だけでなく、吸汁により葉物野菜で葉の萎縮症状を引き起こすので注意

その他のお知らせ

・ハスモンヨトウ

シロイチモジヨトウに注意!

豆類・野菜類・花き類で

発生が平年より多

(兵庫県病虫害防除情報より)

これから作付けされる品目は特に注意しましょう。

・熱中症に注意しましょう!

帽子の着用、通気性の良い衣類の着用、こまめな水分・塩分補給を行いましょ。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報 令和2年度 第7号

調査日	令和2年7月8日
調査圃場	28圃場(軟弱、トマト、なす、ねぎ、にら、スイートコーンなど)
調査機関	神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA 兵庫六甲 神戸西営農総合センター・各支店
発行	JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜・水菜	キスジノミハムシ	多	並	スタークル顆粒水溶剤	100～ 300L/10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	増	スタークル顆粒水溶剤		2000倍	収穫3日前まで	2回以内
	さび病	中	並	アミスター20フロアブル		2000倍	収穫3日前まで	4回以内
	べと病	少	並					
モロヘイヤ	ハダニ類	少	並	コロマイト乳剤	300L/10a	1500倍	収穫前日まで	1回
	アザミウマ類	中	増	スタークル顆粒水溶剤	100～ 300L/10a	2000倍	収穫前日まで	2回以内
トマト・ミニトマト	コナジラミ類	中	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		2000倍	収穫前日まで	3回以内
ミニトマト	うどんこ病	多	並	ダコニール1000		1000倍	収穫前日まで	2回以内
なす	アザミウマ類	少	増	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
	コナジラミ類	少	並			2000倍	収穫前日まで	3回以内
きゅうり	アザミウマ類	中	増	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
	うどんこ病	多	並	アミスター20フロアブル		1500～2000倍	収穫前日まで	4回以内
とうもろこし (スイートコーン)	カメムシ類	中	増	スタークル顆粒水溶剤		2000倍	収穫前日まで	3回以内
	ハダニ類	多	並	コテツフロアブル(劇)		2000倍	収穫前日まで	2回以内
えだまめ	カメムシ類	多	増	トレボン乳剤		1000倍	収穫14日前まで	2回以内
	アザミウマ類	中	増	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	4000倍	収穫7日前まで	3回以内	
	ハダニ類	中	並	マラソン乳剤	2000～3000倍	収穫7日前まで	3回以内	

病虫害に注意しましょう

- ・多くの品目でアザミウマ類が発生しています。アザミウマ類は食害だけでなく吸汁による害で小松菜やほうれんそう等の葉に萎縮症状を引き起こします。こまめに圃場を観察し、早期防除を心がけましょう。
- ・スイートコーンや枝豆でカメムシ類が多く発生しています。今後一か月の気象予報によると気温は平年より高いと予想されています。今年はカメムシ類が多い傾向にあるので注意してください。
- ・トマトやミニトマト、きゅうりでコナジラミ類が発生しています。栽培終了後にはハウスを密閉して蒸し込み処理(ハウス内温度40℃以上で10日間以上)を行い、次作への持越しを防ぎましょう。

その他のお知らせ

- ・熱中症に注意しましょう！
帽子の着用、通気性の良い衣類の着用、こまめな水分補給を行いましょ。
- ・7月17日(金)・18日(土)
夏の感謝祭開催！
詳しくは営農総合センターや支店にお問い合わせください。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報 令和2年度 第6号

調査日 令和2年6月24日
 調査圃場 31圃場(軟弱、トマト、なす、ねぎ、にら、スイートコーンなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数(または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
小松菜・水菜	キスジノミハムシ	多	並	アニキ乳剤	100～300L/10a	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
小松菜	アザミウマ類	少	増	スピノエース顆粒水和剤		2500～5000倍	収穫14日前まで	2回以内
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	少	並	アフアーム乳剤		2000倍	収穫3日前まで	2回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	増	スピノエース顆粒水和剤		2500～5000倍	収穫3日前まで	3回以内
にら	アザミウマ類	少	増	スピノエース顆粒水和剤		10000倍	収穫前日まで	3回以内
モロヘイヤ	アザミウマ類	少	増	スピノエース顆粒水和剤		5000倍	収穫3日前まで	3回以内
トマト	コナジラミ類	少	増	トレボン乳剤		1000倍	収穫前日まで	2回以内
ミニトマト	うどんこ病	少	並	アフエツフロアブル		2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
なす	アザミウマ類	少	増	スピノエース顆粒水和剤		2500～5000倍	収穫前日まで	2回以内
とうもろこし (スイートコーン)	カメムシ類	中	増	スタークル顆粒水溶剤		2000倍	収穫前日まで	3回以内
枝豆	ハダニ類	甚	増	ダニトンフロアブル	150～300L/10a	1000～2000倍	収穫7日前まで	1回

病虫害に注意しましょう

- ・引き続き多くの品目でアザミウマ類が発生しています。アザミウマ類は食害だけでなく吸汁による害や小松菜やほうれんそう等では葉の萎縮症状を引き起こします。こまめに圃場を観察し、早期防除を心がけましょう。
- ・小松菜や水菜でキスジノミハムシが多く発生しています。向こう1か月の気温は平年よりかなり高くなる見込みで、被害が多くなると予想されるので注意してください。
- ・トマトで尻腐れ病が多く発生しています。高温時に乾燥が続くと発生が多くなります。今後一か月の気象予報によると気温は平年より高く、降水量は平年より少～並と予想されています。土壌が乾燥しないよう、適度な灌水を心がけましょう。
- ・ミニトマトでうどんこ病が発生しています。予察対象外の圃場ではきゅうりでも発生が見られています。発生が見られた際は早期防除を心がけましょう。

その他のお知らせ

・暑い日が続いています。薬剤散布を行う際は薬害に注意しましょう。特にハウス内で防除を行う際は、夕方でも気温が高い場合に薬害を生じることがあるので注意してください。

・熱中症に注意しましょう！

帽子の着用、通気性の良い衣類の着用、こまめな水分補給を行いましょ。

・7月17日(金)・18日(土)

夏の感謝祭開催！

詳しくは営農総合センターや支店にお問い合わせください。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報 令和2年度 第5号

調査日 令和2年6月10日
 調査圃場 32圃場(軟弱、トマト、きゅうり、ねぎ、にら、スイートコーンなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
小松菜	アザミウマ類	多	並	ディアナSC	100~ 300L/10a	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
	アブラムシ類	少	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		4000倍	収穫7日前まで	1回
水菜	キスジノミハムシ	甚	増			カスケード乳剤	4000倍	収穫3日前まで
ほうれんそう	アブラムシ類	少	並	スタークル顆粒水溶剤		3000倍	収穫3日前まで	2回以内
	アザミウマ類	中	並	スピノエース顆粒水和剤		5000倍	収穫前日まで	2回以内
	アザミウマ類	甚	増	ディアナSC		2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	並	スピノエース顆粒水和剤		5000倍	収穫3日前まで	3回以内
モロヘイヤ	アザミウマ類	少	並	カスケード乳剤		4000倍	収穫前日まで	4回以内
トマト	コナジラミ類	少	増	スタークル顆粒水溶剤		2000~3000倍	収穫前日まで	2回以内
きゅうり	アブラムシ類	多	並	スタークル顆粒水溶剤		2000倍		
	アザミウマ類	甚	増					
なす	アザミウマ類	甚	増	グレーシア乳剤		2000倍	収穫前日まで	2回以内
とうもろこし (スイートコーン)	カメムシ類	中	増	スミチオン乳剤		1000倍	収穫7日前まで	4回以内
枝豆	カメムシ類	多	増	アクタラ顆粒水溶剤		3000倍	収穫7日前まで	2回以内

病虫害に注意しましょう

- ・小松菜や水菜、ねぎ、きゅうりなど多くの品目でアザミウマ類の発生が増加しています。アザミウマ類は食害だけでなく吸汁による害や葉の萎縮症状を引き起こします。こまめに圃場を観察し、早期防除を心がけましょう。
- ・小松菜・ほうれんそう、きゅうりでアブラムシ類が発生しています。アブラムシ類は増殖が激しく、短期間のうちに高密度になります。またウイルスを媒介し、モザイク病を引き起こす恐れがあります。主に葉裏に生息しているので、薬剤防除をする際は葉裏に十分かかるように行いましょう。
- ・スイートコーンや枝豆でカメムシ類が発生しています。向こう1か月の気温は平年よりかなり高くなる見込みで、被害が多くなると予想されます。注意してください。

その他の注意点

梅雨入りしました！
雨対策を行いましょう

今後雨天が続く場合は、圃場の排水を行うようにしましょう。また、多湿により病気が発生しやすくなります。薬剤防除は降雨の後に行い、発病前に予防散布に心がけてください。

熱中症に気を付けましょう

農作業を行う際は、こまめに水分補給を行い、適度に休憩をしましょう。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報 令和2年度 第4号

調査日 令和2年5月20日(水)～6月1日(月)
 調査圃場 35圃場(軟弱、レタス、トマト、きゅうり、ねぎ、スイートコーンなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜・水菜	キスジノミハムシ	甚	増	アニキ乳剤	100～ 300L/10a	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
水菜	コナガ	多	増					
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	多	増	カスケード乳剤		4000倍	収穫3日前まで	3回以内
ねぎ	アザミウマ類	中	増	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		2000倍	収穫7日前まで	3回以内
	さび病	少	並	ジマンダイセン水和剤		600倍	収穫14日前まで	3回以内
にら	アザミウマ類	少	増	ディアナSC		2500～5000倍	収穫前日まで	2回以内
トマト	コナジラミ類	少	増	スタークル顆粒水溶剤		2000～3000倍	収穫前日まで	2回以内
きゅうり	ハダニ類	中	並	コテツフロアブル(劇)		2000倍	収穫前日まで	3回以内
なす	アザミウマ類	甚	増	アドマイヤーフロアブル(劇)		4000倍	収穫前日まで	2回以内
とうもろこし (スイートコーン)	アブラムシ類	少	増	アディオン乳剤		3000倍	収穫14日前まで	4回以内

病虫害に注意しましょう

- ・小松菜・水菜でキスジノミハムシとコナガの発生が増加しています。また今回の調査では見られませんでした。アザミウマ類の発生も報告されています。こまめに圃場を観察し、早期防除を心がけましょう。
- ・ねぎやにら、なすでアザミウマ類の発生が確認されています。気温が高く、乾燥が続くと発生が多くなります。多発してからの防除は困難なため、早期防除を心がけましょう。
- ・きゅうりでハダニ類が発生しています。いったん発生すると短期間で高密度になります。発生源となる圃場周辺の雑草除去や発生が確認された際の早期防除を心がけましょう。主に葉裏に生息しているので、薬剤防除をする際は薬液が葉裏に十分かかるように行いましょう。

その他の注意点

兵庫県病虫害発生予察注意報第1号(5月28日)によると、果樹類でカメムシ類の発生が極めて多いと発表されています。向こう一か月の近畿地方の気象予報では、気温が平年より高くなるとされており、カメムシの飛来が多くなると予想されます。アブラナ科、ナス科、イネ科等の作物にも被害を及ぼす恐れがありますので注意してください。

熱中症に気を付けましょう

農作業を行う際は、こまめに水分補給を行い、適度に休憩をしましょう。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報 令和2年度 第3号

調査日 令和2年5月8日(水)～5月15日(金)
 調査圃場 32圃場(軟弱、きゅうり、なす、トマト、たまねぎ、にら、など)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜・水菜	アブラムシ類	少	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	100～ 300L/10a	4000倍	収穫7日前まで	1回
	キスジノミハムシ	少	並					
ほうれんそう	ホウレンソウ ケナガコナダニ	中	並	エルサン乳剤		1000～2000倍	収穫21日前	1回
たまねぎ	アザミウマ類	多	増	パダンSG水溶剤(劇)		1500倍	収穫前日まで	3回以内
	べと病	多	並	アミスター20フロアブル		2000倍	収穫前日まで	4回以内
	灰色かび病	多	並					
ねぎ	アブラムシ類	少	並	アグロスリン乳剤(劇)		2000倍	収穫7日前まで	5回以内
にら	アザミウマ類	少	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		4000倍	収穫前日まで	3回以内
なす	アザミウマ類	中	増	アフーム乳剤		2000倍	収穫前日まで	2回以内
とうもろこし	アブラムシ類	少	増	アドマイヤーフロアブル(劇)		4000倍	収穫14日前まで	2回以内
ヤングコーン		-			収穫3日前まで			

病虫害に注意しましょう

- ・小松菜・水菜でキスジノミハムシの発生が確認されています。今回の発生は少程度ですが、気温の上昇に伴い増加が予想されます。こまめに圃場を観察し、初期防除を心がけましょう。
- ・なすでアザミウマ類の発生が確認されています。主に葉裏に生息しているので、薬剤散布をする際は薬液が葉裏に十分かかるように行いましょう。
- ・農林水産省病虫害発生予報第2号(5月13日)によると、ねぎでネギアザミウマ類の発生が「やや多い」と予想されています。今回の調査では発生は確認されませんでした。他品目で発生が確認されています。多発すると防除が困難であるため、圃場をよく観察し、早期防除を心がけましょう。

たまねぎのべと病 感染対策を行いましょう

べと病に感染したたまねぎの葉や根をすき込むと、その中で形成された卵胞子が土中で生き残ります。土中の卵胞子が秋に苗へ感染し、定植後に越年罹病株となります。春に越年罹病株から分生胞子が発生し、感染を繰り返すため今の時期の対策が大切です。感染株は圃場外で処分し、薬剤防除を行いましょう。薬剤散布の際は風のない時期に全体に付着するように丁寧に散布しましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報 令和2年度 第2号

調査日 令和2年4月15日(水)～4月24日(金)
 調査圃場 35圃場(軟弱、レタス、トマト、たまねぎ、にら、いちごなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜	キスジノミハムシ	少	並	スタークル顆粒水溶剤	100～ 300L/10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	中	並	カスケード乳剤		4000倍	収穫3日前まで	3回以内
	べと病	少	並	ランマンフロアブル		2000倍	収穫3日前まで	3回以内
たまねぎ	アザミウマ類	少	並	ディアナSC		2500～5000倍	収穫前日まで	2回以内
	べと病	少	並	ジマンダイセン水和剤		400～600倍	収穫3日前まで	5回以内
灰色かび病	中	並						
ねぎ	アザミウマ類	多	増	グレーシア乳剤		2000～3000倍	収穫7日前まで	2回以内
にら	アザミウマ類	少	増	スピノエース顆粒水和剤	10000倍	収穫前日まで	3回以内	
いちご	ハダニ類	甚	増	ダニトロンフロアブル	150～ 300L/10a	1000～2000倍	収穫前日まで	1回
				粘着くん液剤		100倍	収穫前日まで	—

※マンセブを含む農薬(ジマンダイセン水和剤、リドミルゴールドMZ等)の総使用回数は3回以内です。

病虫害に注意しましょう

- ・小松菜でキスジノミハムシの発生が確認されています。こまめに圃場を観察し、初期防除を心がけましょう。
- ・たまねぎでアザミウマ類の発生が確認されています。多発してからの防除は困難なため、早期防除を心がけましょう。
- ・いちごでハダニ類の発生が増加しています。主に葉裏に生息しているので、薬剤散布をする際は薬液が裏に十分かかるように行いましょう。また農薬散布前に下葉の除去を行うとよりハダニ防除に有効的です。
- ・一部圃場でヨトウムシ類の発生が確認されています。兵庫県病虫害防除所発生予報第1号(4月30日)でも野菜共通でヨトウムシ類の発生が「やや多」と予想されています。例年より早い時期から幼虫による加害がある恐れがありますの注意してください。

その他の注意点

ハウス内の気温が上昇しやすい気候が続いています。葉焼けが発生しないよう、ハウス内の水管理、温度管理を心がけましょう。

JAからのお知らせ

雑草対策に
 バスタ液剤・ザクサ液剤が
 おすすめです！
 5月22日までキャンペーン中！
 詳しくはお近くの支店へ
 ご相談ください！



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報 令和2年度 第1号

調査日	令和2年4月8日(水)
調査圃場	35圃場(軟弱、レタス、トマト、たまねぎ、にら、いちごなど)
調査機関	神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行	JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜・水菜	キスジノミハムシ	少	並	アニキ乳剤	100～ 300L/10a	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
	コナガ	少	並	プレバソフロアブル5		2000倍	収穫前日まで	2回以内
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	多	増	アファーム乳剤		2000倍	収穫3日前まで	2回以内
	べと病	少	増	ランマンフロアブル		2000倍	収穫3日前まで	3回以内
レタス	菌核病	少	並	ロブラール水和剤		1000倍	収穫14日前まで	3回以内
たまねぎ	べと病	少	並	アミスター20フロアブル		2000倍	収穫前日まで	4回以内
	アザミウマ類	少	並	パダンSG水溶剤(劇)		1500倍	収穫前日まで	3回以内
ねぎ	アブラムシ類	少	並	アグロスリン乳剤(劇)		2000倍	収穫7日前まで	5回以内
	アザミウマ類	多	増					
にら	アブラムシ類	少	並	スタークル顆粒水溶剤		2000倍	収穫前日まで	2回以内
	白斑葉枯病	少	並	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	
いちご	ハダニ類	甚	増	ニッソラン水和剤	150～ 300L/10a	2000～3000倍	収穫前日まで	2回以内
				粘着くん液剤		100倍	収穫前日まで	—

病虫害に注意しましょう

- ・小松菜や水菜でキスジノミハムシ・コナガの発生が確認されています。こまめに圃場を観察し、初期防除を心がけましょう。
- ・ほうれんそうでハウレンソウケナガコナダニが多く発生しています。早期発見に努め、初期防除を心がけましょう。
- ・ほうれんそうでべと病の発生が確認されています。今回の調査では少程度ですが、複数の圃場で発生の報告を受けておりますの注意してください。
- ・たまねぎ、ねぎでアザミウマ類の発生が確認されました。兵庫県病虫害発生予察情報第10号(3月25日)でも、たまねぎでネギアザミウマの発生量の増加が懸念されています。多発すると防除が困難になるため、圃場をよく観察し、早期防除を心がけましょう。
- ・いちごでハダニ類の発生が増加しています。主に葉裏に生息しているので、薬剤散布をする際は薬液が裏に十分かかるように行いましょう。また下葉の除去もハダニ防除に有効的です。

その他の注意点

今後の気温上昇に伴い、害虫が増加すると予想されます。薬剤抵抗性を持たせないように薬剤のローテーション防除を行いましょう。また、圃場内外のこまめな除草を心がけましょう。

JAからのお知らせ

雑草対策に
バスタ液剤・ザクサ液剤が
おすすめですよ！
5月22日までキャンペーン中！
詳しくはお近くの支店へ
ご相談ください！



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。